

おきたま 社会教育情報

Vol. 120 令和2年7月号

第1回置賜地区青少年教育推進会議

7月16日（木）、置賜総合支庁西置賜地域振興局で第1回置賜地区青少年教育推進会議を開催しました。本会議では、置賜地区の青年代表5名（推進委員）と各市町担当者により地域活動の活性化について話し合いました。

まず、各市町担当者や推進委員の方々から青年層の地域活動やボランティア活動の状況について報告いただきました。ボランティアサークルの活動や青年による活動が縮小しているところが多いようですが、活発に活動を行っているボランティアサークルとして長井市の「北斗」、南陽市のキラキラ EKUBO キッズや高畠町の「地球」などの団体もあり、その活動の輪が広がることが期待されました。

その後、「次世代の地域づくり中核人材育成事業」について、中高生を地域活動に参加させるためにどのようにすればよいかという視点で話し合いを進めました。その中で、「家ではできない特別な体験や顔と顔を合わせての関りを通して参加する中高生の内面を変えていくことが大切であるのでは。」などの意見が出されました。

これからも地域活動の活性化のためにも、中高生を含めた青年の方々が地域活動を活発に行えるように支援していきます。

推進委員の皆様

高橋 達也 氏	(米沢市)
鈴木 政輝 氏	(長井市)
高橋 伸義 氏	(南陽市)
大地浩太郎 氏	(高畠町)
佐藤 史彬 氏	(高畠町)



コロナ禍におけるクラブ運営情報交換会・置賜地区協議会第1回地区別研修会

7月15日（水）吉島地区交流センターにて、標記の会を開催しました。総合型地域スポーツクラブ関係者14名の方に参加いただき「新しい日常を取り入れたクラブ運営とその課題」について情報交換会を行いました。このような困難な中でも、総合型地域スポーツクラブの皆様からは、「地域住民の期待に応えるため、今後とも経営を継続させよう！」という熱い思いが伝わってきました。

置賜地区広域スポーツセンターは、置賜地区生涯スポーツ振興のために、総合型地域スポーツクラブともに歩んでまいります。



新しいスポーツ様式を発信していく。

消毒薬など行政からも支援していただくようお願いする。

施設の定期的な清掃と消毒。利用者にも協力を仰ぐ。

近隣の地域や会員の家族にコロナウイルス感染者がいないか確認する。

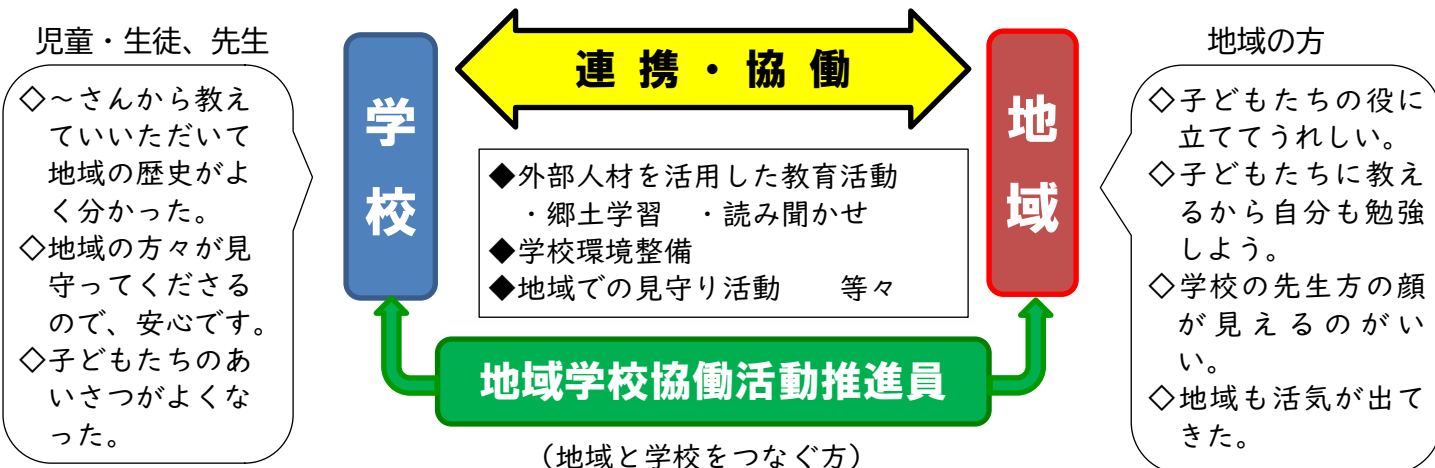
このまま終息しなければ、さらに必要なことは何か、勉強会が必要ではないか。

ガイドラインに沿った安全対策を徹底していく。

三密対策を行った施設の整備を行う。（更衣室など）

地域学校協働活動について

地域学校協働活動とは地域住民の方々の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに「学校を核とした地域づくり」を目指して地域と学校が連携・協働して行う活動です。



置賜教育事務所では、本活動への理解を深めていただくために、11月20日(金)に「地域とともにある学校づくり研修会」を開催いたします。多くの方々の参加をお待ちしております。

また、「地域学校協働活動」について、「いつでも」「どこにでも」「何度でも」説明に伺います。遠慮なく、下記の問い合わせ先までご連絡ください。



スポーツ少年団ってどんな組織？

- ・ 一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する
- ・ スポーツを通して青少年のこころとからだを育てる
- ・ スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する

という3つの理念のもと、地域の中で設立されたのがスポーツ少年団です。

団員・・・自主的に参加した子どもたち。

リーダー・・・団活動をより良くするために補助的な役割を果たす団員。

指導者や役員・スタッフ・・・適切な指導・助言で子供たちの能力を引き出し、より良い社会人へと導くことができる者。

育成母集団・・・地域の中で財政面、労力面、精神面にわたって団を支えてくれる重要なメンバー。(図参照)

スポーツ少年団が他の青少年団体やクラブチームなどと異なる点は、スポーツ中心なのはもちろん、青少年の健全育成のために必要な文化・教育的価値を併せ持つところにあります。

スポーツ少年団の活動が、青少年の健康を損ない、発育発達を阻害してしまうようなことがあってはいけません。また、試合に勝つことだけが主たる目的でもありません。スポーツ少年団は、スポーツ活動を中心としながらも、スポーツだけに偏らないいろいろな活動が求められます。

※本情報紙の本文は、UD(ユニバーサルデザイン)デジタル教科書体を使用しております。

【お問合せ先：置賜教育事務所社会教育課 Tel. 0238(88)8242】

■単位スポーツ少年団の組織

